

## 北辰会幹事畑地豊さんと同期生/畑さんとの交信

2018.2.10

な、なんと！

23期幹事の畑地さんに先の23期同期会に続いて今年もまた53年ぶりの喜びが舞い込んで来ました。同期の「畑 徳昭」さんと連絡が合ったのです。その喜びのメール交信をここで一挙に公開しましょう。(事務局)

From: 畑地 豊 (北辰会)  
Sent: Saturday, February 10, 2018 16:00 PM  
To: 畑 徳昭 様  
Cc: 北辰会前田事務局長 様  
Subject: メール返信ありがとうございました。

## 北辰会23期 畑 徳昭 様



畑地さん

拝復 メールでのお便りを頂きました。大変うれしく拝読しました。誠にありがとうございました。

23期の畑地 豊です。4年間の間に学内ですれ違ったり、一言、二言会話させて頂いていたかも知れませんか。しかし只今は思い出そうと思ってもそれは長い年月(53年)の為せる業で困難なことです。其れは畑さんも同じかも知れませんか。

しかしこうして53年ぶりに通信と言えども意思の疎通が出来ることに感激の思いです。と同時に同期生としての熱い気持ちが通じ合ったような気がします。(少々大げさな表現はお許し下さい)

是非とも来る5月の「北辰会総会」にはご出席を仰ぎたい、そして53年の邂逅を遂げさせて頂きたいものと希望いたしております。

**1** お節介みたいに勝手に「会」の仕事を進めて一方的に皆さんに情報をお届けしています。「中にはそっとしておいて」と思っておられる方がいらっしゃるかも知れませんか！しかしこうしてお便りをお寄せ頂き、ささやかですが私たちがお世話させて頂いている「北辰会」の活動にご理解を示して下さいとお言葉をお聞きしますと、疲れが吹っ飛び、やらせてもらっていて良かった。これからも頑張って皆さんと連携して「楽しい人生を送る一助たらん」という元気を頂けます。

**2** 昨年秋の「23期同期会」で「中井治正さん」と親しく会話していた時のことです。畑さんの連絡先を紹介してもらいました。不肖幹事としての私が同期の友人の住所判明率が低いこと。会の運営として致命的であることなどを懸命に喧伝させて頂いていたことに呼応して頂いたのです。同期会開催お便り1ページにも記載してありますが23期に於いても、『23期卒業生168名、物故者18名=現役170名⇒住所判明者59名(判明率=約35%)』。となっています。今後ますますこの数字はダウンするかもしれませんが、逆に向上させていきたいと思っ



**3** 会の運営の基本中の『基』は会員の皆さんの連絡先（住所）を把握することであると言っても過言では無いと思います。

それは会としての運営状況や実態などを北辰会のホームページに掲載されている広範囲に渉る情報にお目通し頂き、北辰会生が心と気持ちを一つにして連携して活発に人生を謳歌して頂けるのではないかと信じているからであります。

そのために北辰会事務局幹部の方々ご一同やピラミッド関係の各学年（期）の幹事ご一同の皆さんが常に「皆様のオアシスで在り続けたい」をモットーに日々運営の作業を粛々と進めてくれています。

情報お届けには住所（連絡先）の判明が必至であることは申し上げるまでもありません。

**4** 僭越ですがホームページ「北辰会報/23号」に不肖畑地の投稿文「卒業後思い出あれこれ」が掲載されています。御一読頂ければ幸いです。

北辰会活動は他の同期生（例：24期、25期、26期等々）の活動報告が目白押しで、私達23期は皆無に近い状況であったという思いは一人、私だけでなかったと思います。その掲載文にも少しそのあたりのことを書かせてもらっているのですが、実は私のクラス/中野先生クラスは「ポンコツ会」と称して「山本悦郎さん」の強いリーダーシップのもとに、それはそれは団結力、行動力旺盛で卒業後毎年のように活発に長年途絶えることなく活動を続けて来ております。しかしふと気が着くとそれは上部団体の「北辰会」にこれと言って連携していないのではないかとということを通ることが有ります。そして23期の健在ぶりを広くアピールして、ひいてはこのことが北辰会の発展にいささかでも寄与することの一助たらんと強く思う様になって来たのです。



**5** これまで“独りよがり”ということでは有りませんでした。北辰会活動を蔑視するものでも勿論全くありませんでした。

思うにこの「ポンコツ会」自体みんな仲良しで、意志の疎通が良く取れていて、粛々と活動を活発に実行してきました。「北辰会」のことに意識が向いていなかったのか。関心がやや薄かったのか？いえいえ特別それは有りませんでした。

しかし私自身の思いですが、北辰会から毎年春になると年1回発行の「北辰会報」が事務局から贈って来て頂きます。

さり気なく目を通して「校友は活発に活動されているな。事務局の方達は限定された人数で北辰会生のために一生懸命ご尽力して下さいな」と感じていました。“さり気無く”です。

それが数年前から“さり気無く”から“さり気無くではなく”かなり真剣に拝読するようになってきました。

そして会の運営資金である「賛助金カンパ」の振込用紙が同封されていました。最初は無関心に“それはゴミ箱”行きでしたが、会報の巻末あたりに「賛助金運動目標達成のお礼」が記事として掲載され、さらに「賛助者の氏名」が各期毎に公表されています。

23期からも15名ないし20名近くの方達の名前が目に入ってきました。8割近い方々は私の認識できる方たちでした。

そこに勿論不肖私の名前が有りません。当然“ゴミ箱”行きでしたから有るはずが無いのです。



- 6** 私ははっとしてある感慨を有することとなります。同期の大半知っているお方達が「北辰会の活動」に関心を寄せられ、尚且つ大事な運営資金である「賛助金運動」にも参画されている。
- ということは私自身もみんなと同様に「北辰会の活動」に関心を持たなければいけない。何かお手伝いの一つでもさせて頂き、永い目で見て会の自然的減少、衰退化を防止して逆に右肩上がりにはしないといけない。ひとり安穩として他人様にお任せきりでは申し訳ないと思う様になりました。この心境の変化は何なのかよくわかりませんが“みんなとの連携が必要、自分はみんなに生かされている”という気持ちが芽生えたのかも知れません。23期生みんなの思いをもっと表面的にも北辰会にアピールしてぶつけて行くべきかなと思ったのです。
- 7** それからが急転直下という感じで何かと北辰会にお便りやら、情報やら絡んでくることが発生してそれだけでなく日頃多忙にされておられる「事務局の皆さん」を煩わせているのです。
- 8** 北辰会事務局の皆さまからも絶大なご支援を頂きながら昨秋、ご高尚「23期53年ぶり初の同期会」を開催することが出来ました。今後はもっと多くの方に参加してもらいたいなと思っています。

感激のあまり最近の心境まで書いてしまいました。お許してください。次回は是非とも北辰会総会でお会いできることを祈念しています。

余寒なお厳しいものが有ります。ご自愛下さい。

敬具

From: HATA  
Sent: Saturday, February 10, 2018 11:04 AM  
To: 畑地 豊  
Subject: 北辰会会報有難う



畑さん

畑地 豊 様  
畑 徳昭です。

先日は北辰会の会報ならびに5月の予定等送って頂き有難う御座いました。50年も過ぎると写真の顔と名前が一致せずに何回も眺めているとあの青春時代がなんとなくよみ返って来ました。又 北野高校のホームページを拝見すると、北辰23期会の行事等詳細に見る事が出来、改めて畑地様のご尽力に敬意を表します。

昨年勤めていた会社の同期会が有り久しぶりに中井君とお会いが出来、その時北辰会に付いてお話を聞きました。

小生も卒業後そのまま会社勤めを終え、今は農業に専念しております。田舎に閉じこもっており中々大阪方面に出る事が出来なくなりました。此れを期に皆さんとお会い出来たらと思います。

幹事と言った大役ご苦労様ですが宜しくお願い致します。